

事業地の様子①マイナヒヤ行政村の様子



村内の様子。藁・竹・木材で作られた家に住む人も少なくない



標準体重に満たない乳幼児の栄養改善は火急の課題

本事業対象地は、ネパールの首都カトマンズ市から南西約 270km、車で約 8 時間の地方農村部に位置しています。タライ・マデシ、タルーなど様々な民族が住んでおり、その多くが低カースト層です。ネパールでは未だ、都市・地方間や、民族・カースト間で少なくない格差が存在しており、例えば本事業対象地のような地方農村部における乳児死亡率は都市部の約 1.7 倍、低カースト層の妊産婦死亡率は約 1.4 倍とされています。

事業地の様子②ハティバンガイ地域診療所



ハティバンガイ村役場。赤丸箇所 2 室を仮診察室として利用中



仮診療所内部。机といす数脚が置かれているだけ

地域診療所は、ネパール政府保健人口省により 1 行政村に 1 つ設置されている公的一次保健医療施設です。本事業対象 4 行政村のうち唯一、ハティバンガイ地域診療所には診療所独自の建物がありません。そのため、村役場の 2 室を間借りして利用しており、保健スタッフにも患者さんにも不便が生じているだけでなく、プライバシー確保や感染症対策上でも問題になっています。この問題を解決するため、本事業ではハティバンガイ地域診療所を新たに建設する予定です。

(参考) 先行事業の活動①母親グループの能力強化



グループマネジメント研修の様子



栄養バランスを学ぶための調理実習

本事業は、4 行政村 16 村を対象とした先行事業の成果を踏まえ、活動地を 4 行政村の全 36 村へ拡大するものです。そのため、先行事業同様の活動を、新しい活動地である 20 村でも実施します。その一つが母親グループのリーダー層に対する 7 種の能力向上研修（安全な妊娠と出産、子どもの健康、HIV/AIDS など）です。先行事業では、述べ 680 人の母親グループリーダーらが研修に参加しました

(参考) 先行事業の活動②コミュニティ健康基金



コミュニティ健康基金運営研修



基金の運営管理をする母親グループメンバー

先行事業同様に、コミュニティ健康基金を全対象 36 村で設立します。母親グループメンバーが毎月貯蓄する 20 円～100 円を原資に、コミュニティ健康基金は設立されます。同基金からの貸し出しは、出産時や疾病罹患時に病院へ行くための交通費など、健康増進目的に貸し出されます。

(参考) 先行事業の活動③トイレ建設



トイレ建設の様子



完成したトイレ

先行事業では公衆衛生状況改善を目的に、トイレ 65 基をマッチングファンド形式で建設しました（設置総費用の 45%を事業から支援、残り 15%は地方行政予算、40%はコミュニティからの自己負担）。本事業ではトイレ建設に限らず、村内排水溝の整備などニーズの高い活動をコミュニティ住民自身が策定・実施する過程を支援する予定です。なお本事業対象地のトイレ設置率は 10%と、ネパール全国平均の 31%を大きく下回っており、本活動を通じた公衆衛生状況の改善が期待されています。